

International Creative Arts 2019 in Japan

会期：2019年10月26日～10月27日

アーティストトーク：10月26日 14:00～15:00

(参加無料・申込不要)

会場：アクロス福岡2F 交流ギャラリー

福岡県福岡市中央区水戸門1-10-1 藤10号

【主催】 鳩見堂  
(K.S Art Agency)

【後援】 福岡市

(公益)

福岡市美術館  
福岡市立美術館  
福岡市立中央図書館  
福岡市立中央公民館

# International Creative Arts 2019 in Japan

創造性の本質は、失敗を恐れないことだ。  
ー エドウィン・ハーバート・ランド

福岡市民芸術祭参加



福岡市民  
芸術祭

# Artists

Alphabetize by Last Name



Barbara Mydlak



Chen MengJie

Prof. Ewa Latkowska  
Zychska



# Artists

Alphabetize by Last Name



Fumi



Jan-Hendrik Baur

菊池 麻美



# Artists

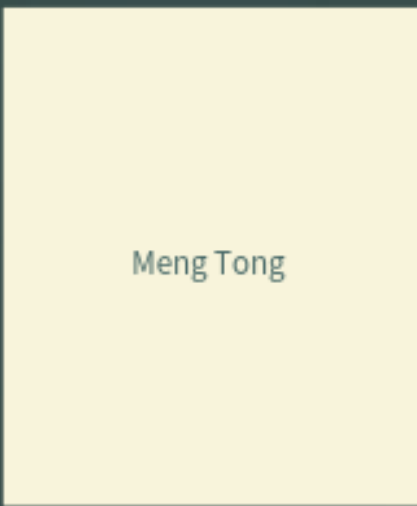
Alphabetize by Last Name



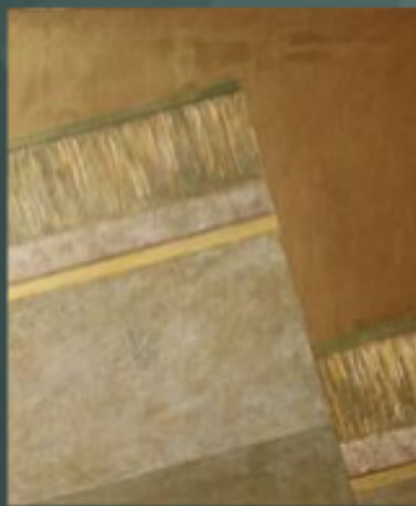
Laurent Villate



momomi sato



Meng Tong



# Artists

Alphabetize by Last Name



Shi LinDi

奥勝浩



Hu XiaoLong

# Artists

Alphabetize by Last Name

**コスメティック（化粧品）はコスモ（宇宙）**

を語源とする。かつて人々は泥を肌に塗り、石をアクセサリーにし、未知なる宇宙（秩序）との対話を図ろうとしていた。

**しかし近代史にある産業革命は、人に自然を操作する術を与え人が秩序とするものだった。**国芳は西洋画に興味を持ち、コレクションを他人に見せるほどのコレクターであったが、その研究から彼は、西洋人（人）が宇宙（秩序）を生み出していくとする思想を知ったはずだろう。



そこで彼はアルチンボルトを参照にしながら、顔に裸の“人”を着せる＝コスメティックと皮肉ったのである。

初代ゴジラは唯一被爆国民の代弁者として登場、上映されるも、時代の変化とともにヒーロー化を遂げ、環境問題を取り上げ、時代設定の中に配置され、コンテキストと自我の無い怪獣となってさまよい歩いてきた。

**私は国芳の内在于るものを見つめる視線、手法を引用することで、器＝ゴジラ（日本人）に定型文＝秩序をコスメティックする。**

——西垣 肇也樹



International Creative Arts 2019 in Japan

16世紀後半、様々な経路でヨーロッパに渡った日本の美術はその後の西洋美術に革新を起こしました。浮世絵に強い影響を受けた印象派のみならず、幅広く版画、工芸、建築、写真など多岐にわたっております。本展は50年の歴史を誇る福岡市民芸術祭の一環として企画し、出品作品は欧米および日本、中国から絵画を中心に総計100点余りの規模で開催する運びとなりました。日本の作家彼ら自身の内部にあったもの、それから日本の隅々まで見て、その本質を理解しようとする努力が世界の作家に取り込まれた「日本美術」観を記述しようという試みとなっております。

KS Art Agency

鳩見堂

*Human desires what human creates*

〒 810-0001

福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号 1F rabbit ROOM C

☎ 090-9493-2512

営業時間 10:00~18:00 (定休日 土、日)